

災害時に暮らす

避難所ではペットは決められた場所で過ごすこととなり、飼い主と同居できません。また、平常時からシミュレーションすることは備えにもなります。いざという時のために、災害時のペットとの暮らしを確認しておきましょう。

- 迷子札など身元表示の装着
- 1週間分の餌と水、トイレ用品など避難用品の準備
- 基本的なしつくと、キャリーバッグやケージに入れる練習
- 預け先の確保
- 避難所や避難ルートの確認

ペットの防災講演会

ペットとの避難や避難所での状況についての講演です。
 日 9月9日(日)10時～12時 場 市役所701会議室 定 先着50人
 講 (一社)清川しっぽ村運営委員会スタッフ 申 8月1日(水)から直接または電話で環境課へ

市と相模獣医師会 災害時の動物救護活動 で協定締結



5月、災害時などに連携して動物の救護活動に当たる協定を相模獣医師会と結びました。市の要請に応じて、「負傷した動物の応急治療」「所有者不明動物の一時確保」「被災動物に関する相談」などを行うものです。



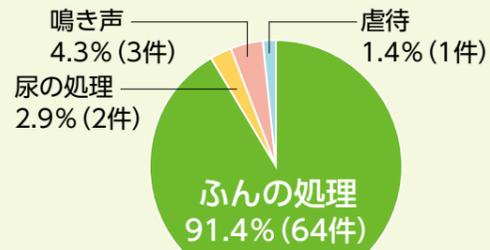
犬のしつけ教室

しつけ方や飼い主のマナー向上のための教室です。訓練犬によるデモンストラーションもあります。飼い犬の同伴はできません。

日 ①9月26日(水)14時～16時 ②10月13日(土)10～12時 場 県立相模三川公園パークセンター 定 各日先着50人 講 ①保護センター職員 ②動物愛護推進員 申 8月1日(水)から、直接または電話で環境課へ。両日申し込み可

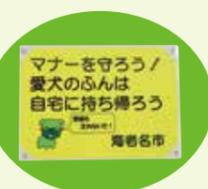
市の犬の登録件数は約7,000匹。総世帯数の約1割以上が犬と暮らしている計算です。市に寄せられている苦情・相談の中で最も多いのは「ふんの処理」に関するものです(円グラフ)。マナーを守らない一部の飼い主によって、不快な思いをしている人がいます。教室参加などを機にマナーの再確認をしましょう。

〔円グラフ〕市への苦情・相談の内訳(平成29年度)



環境課でマナー啓発プレートを配布

犬のふんでお困りの方、ご活用ください!



犬の飼い主が
仲良く暮らす



放し飼いは禁止!
屋外では
必ずリードを

散歩中の
ふん尿は
必ず処理を

「無駄吠え」
「噛み付き」が
ないように
適切なしつけを

人と動物が 共に暮らすために

問環境課 ☎(235)4912

生活に潤いを与えてくれるペット。中でも犬や猫をペットとしている人は多く、身近な動物です。共に快適に暮らすためのマナーや制度と、成年にちなんだ今年度の市のペット支援事業をお知らせします。

猫の飼い主が
仲良く暮らす



飼育は屋内で

不妊・去勢
手術を
しましょう

首輪や迷子札、
マイクロチップを
付けましょう

〔図〕猫の繁殖力 ～1匹が3年後には2,000匹に～

1匹のメスが・・・

1年後には20匹以上

2年後には80匹以上

3年後には2,000匹以上

年に
2～4回
出産

1回に
4～8匹
を
出産

野良猫への無責任な餌やりはやめましょう

ふんや尿で周囲を汚したり、繁殖して不幸な猫を増やすことにもつながります。それでも餌を与える場合は、地域の理解を得ると同時に食べ残しの片付けやふんの処理などの適切な管理を行い、不妊・去勢手術の実施や新しい飼い主を探すなどの努力をしましょう。

猫は登録制度がないため、数を把握することが困難ですが、野良猫を含めると犬の3倍ともいわれています。また、図のとおり繁殖力が非常に高い動物です。飼う場合も、野良猫に接する際も、マナーを守って仲良く暮らしましょう。

猫の不妊および 去勢手術費用助成

事前に申請が必要です。詳細は環境課へ。

対象 市内に居住し、住民登録をしている世帯主または市内に事務所などを有する法人・個人
 対象猫 生後6カ月以上の飼い猫または飼い主のいない猫(手術後に飼うことが条件)、同一年度上限1世帯2匹
 助成額 不妊手術5,000円、去勢手術3,000円

TNR^(※)活動を行う団体に対する猫の不妊および 去勢手術費補助金

事前に団体登録と団体規約などの書類提出が必要です。詳細は環境課へ。

※TNR…飼い主のいない猫を捕獲し、不妊手術または去勢手術を受けさせ、元の場所へ戻すこと

補助対象 補助額 主な条件

飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費用
 猫1匹につき5,000円
 ●動物愛護を目的としている3人以上の団体
 ●「動物の愛護及び管理に関する法律」などの関係法令を理解し、順守していること など

